

Best Available Copy

<p>84-104475/17 F06 L02 FUJI- 10.09.82 FUJI FIBRE GLASS KK *J5 9047-479-A 10.09.82-JP-156587 (17.03.84) D06m-11 D06m-15 Bulky woven glass fibre based textile goods - in which fabric is coated or impregnated with processing soln. contg. inorganic powder and binder</p>	F(2-A3, 2-A3A, 3-E1, 4-C1) L(1-F3A) 13S
<p>C84-044529</p> <p>The inorganic powder is hydrated mineral, highly heat conductive anhydrous mineral or carbonate mineral and pref. are Al hydroxide, talc, B nitrate, Zr borate, Ti carbide, graphite, etc. The binder is selected from among heat resistant organic and inorganic binders.</p> <p>The processing soln. is applied pref. by spraying in 2-50, pref. 5 to 30 pt.wt. per 100 pts.wt. of glass fibre plus solid content of the processing soln. The inorganic powder has a particle size of below 250, pref. below 70 microns. The cloth does not irritant the skin, is resistant to fraying and fusion by spark of welding and is useful as substitute for asbestos cloth. (4pp Dwg.No.0/0)</p>	

19 日本国特許庁 (JP) 11 特許出願公開
12 公開特許公報 (A) 昭59-47479

31 Int. Cl.³ 識別記号 庁内整理番号 43 公開 昭和59年(1984)3月17日
D 06 M 15 00 7107 - 41.
11 00 7199 - 41.
発明の数 1
審査請求 未請求

(全 4 頁)

54 ガラス繊維製品
イバークラス株式会社真岡工場
内
21 特 願 昭57-156587 22 発 明 者 竹原俊
22 出 願 昭57-1982-9月10日 真岡市鬼怒ヶ丘6番地富士ファ
22 発 明 者 大関正 イバークラス株式会社真岡工場
真岡市鬼怒ヶ丘6番地富士ファ 内
イバークラス株式会社真岡工場 23 出 願 人 富士ファイバークラス株式会社
内 東京都千代田区内神田一丁目13
22 発 明 者 近藤正弘 番 7 号
真岡市鬼怒ヶ丘6番地富士ファ

明 記 書

1. 発明の名称

ガラス繊維製品

2. 特許請求の範囲

1. 繊維質材を公知のガラスを主成分とする繊維質を含有した繊維ガラス材。
2. 繊維質材が合成繊維であることを特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の繊維ガラス材。
3. 繊維質材が天然繊維の糸状繊維であることを特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の繊維ガラス材。
4. 繊維質材が、繊維質材の糸状繊維を特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の繊維ガラス材。
5. 繊維質材が、繊維質材の糸状繊維を特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の繊維ガラス材。
6. 繊維質材が、繊維質材の糸状繊維を特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の繊維ガラス材。
7. 繊維質材が、繊維質材の糸状繊維を特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の繊維ガラス材。
8. 繊維質材が、繊維質材の糸状繊維を特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の繊維ガラス材。

特許請求の範囲第1項に記載の繊維ガラス材。

1. 繊維質材が、繊維質材の糸状繊維を特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の繊維ガラス材。
2. 繊維質材が、繊維質材の糸状繊維を特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の繊維ガラス材。
3. 繊維質材が、繊維質材の糸状繊維を特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の繊維ガラス材。
4. 繊維質材が、繊維質材の糸状繊維を特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の繊維ガラス材。
5. 繊維質材が、繊維質材の糸状繊維を特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の繊維ガラス材。
6. 繊維質材が、繊維質材の糸状繊維を特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の繊維ガラス材。
7. 繊維質材が、繊維質材の糸状繊維を特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の繊維ガラス材。
8. 繊維質材が、繊維質材の糸状繊維を特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の繊維ガラス材。

3. 學期の成績を比較する

本發明はガラス繊維製品に関するものである。
さらに詳しくは、右繊維層厚のガラス面に関するものである。

[illegible]

右現代村の村の中心にカラエ織部がある。カラエ織部はカラエ織部に染められた布。且つ織造カラエ布といふには、右織部と異なり、1. 織造カラエ布といふには、右織部と異なり、2. 経緯が異なる。3. 経緯が異なる。4. 引張力が強い。5. 引張点を有しているが、反面、右織部を代替する目的で使用し、というようにもあり、

1. 在 20 世纪 60 年代，美国科学家在加利福尼亚州发现了一种新的病毒，这种病毒被称为“爱滋病病毒”（AIDS）。这种病毒是一种非常危险的病毒，因为它可以导致免疫系统崩溃，从而使人体容易受到各种疾病的侵袭。

持開昭59- 17479(2)

4) 明らかにないとき、それは、1) から 3) 条の
 6) の段階を経て、2) 市議員の任命的、3)
 選挙権花に1%、市議員の任命的、4) 選挙
 市に於ける市議員、市議員、市議員、

[illegible][illegible]

1. 在 1980 年以前， CO_2 的浓度在 280 ppm 左右，而到 1990 年， CO_2 的浓度已增加到 350 ppm。

くなったり、嵩高ガラス布の柔軟性を阻害したり、また経済性の面からも望ましくない。これらの処理剤は浸漬法、タッチロール法、スプレー法等により、ガラス繊維に塗布することが出来るが、処理剤をなくすこと、塗布後の乾燥も容易にする、嵩高性をそこない等の点からスプレー法が望ましい。

以下、実施例によつて本発明を説明する。

実施例

太さ135フィックスのガラスストランド10本を引揃えてフィードローラーを通して後、嵩高剤が施に通して嵩高加工してワインターで巻き取った。この時のフィードローラーの引揃速度は100^m/分、ワインターの巻取り速度は90^m/分、巻取られた嵩高糸の太さは1450フィックスであった。

この嵩高糸を使用し、ロビテ式織機で経8本/25mm、緯8本/25mmの打込み本数で平織リクロスを製織した。これを嵩高加工布と呼ぶ。この

特開昭59-47479(3)

嵩高加工布に表1に示した組成の処理剤をスプレー法によつて処理し、乾燥して処理ガラス布を作成した。これを用いて次の項目の効果を評価した結果は表1に示した通りである。なお、1件の評価方法は次のようであった。

1) 浸透性

嵩高布を直接浸漬に取付け、その浸透性を確認した。

2) 嵩高

肉眼観察により行った。

3) クロス方向最小火玉径

50mm離れた位置からファイバーにより火を落かして出火した火玉を嵩高ガラス布上に落とされる。この時、布を貫通する最小火玉径を単位での値とした。

4) 処理剤の離脱性

黒紙の上に処理剤を塗布した嵩高リクロス布をのせ、ガラス布の上から10回軽くたたく

と処理剤の離脱性を確認した。

以上のとおり、本発明の嵩高ガラス布が優れていることがわかる。

時間昭59- 17479(4)

第1章 ガラス繊維の物理組成と析出結晶

[illegible]